

能像我们现在这样，彻底消除战争创伤，消除隔阂，不再带有色眼睛看对方，坦诚相待，心胸坦荡地尽情交流，那该多好啊。

这次，有幸参加阿尔曼德先生的抚平战争创伤项目的各位参与者，通过戏剧手段和艺术表现形式，好像大家心中的战争创伤都很好得到了治疗，大家能够相互温和坦率地相视，能够愉快地交谈。虽然这次人数很少，但是，的确从这儿看到了彻底消除隔阂的曙光。为此感到十分欣慰并树立了信心

最后我想说，活动初期，看到会场椅子围成圈的摆法时，感觉怪怪的。心想此后要做什么呢？活动结束的最后一天，再看到椅子圆圈状摆法时，觉得很留念。今后还想和大家一起，和更多的人一起将这种活动做下去。

12

傷の意味に直面して～HWHに参加した感想

匿名

子供の頃に心に負った傷を大人になるとそれについて触れられたくないのと同じ、私も意識的にかどうかわかりませんが、なるべくそういった残酷な場面を避けてきました。小学校の時から、学校ではしょっちゅう組織的な報告会があり、映画や記憶の中では、「日本人」「大虐殺」「南京」のような文字を目にします。南京の大学に入り、第一学期中にまず「南京大虐殺記念館」の見学をしました。視線がすべて遺骨と戦時記録画に取られ、呼吸する息もすべて特殊な臭いを感じ、息が詰まるのではないかと感じてしまいました。何年か前、テレビ局の友達が編集した資料映像《南京大虐殺》、その中のシーンはとても目にすることが出来ず、二度と見たくないです。また、少し前に放送された《南京！南京！》、出だしを見ただけで、もう見たくなくなりました。傷口に塩は撒きたくありません。

今回このような活動があることを知ったばかりの時、すぐに活動のテーマに引き付けられました。綾さんは芸術治療を研究されています。私は最近絵画治療に興味があります。今回のテーマは私が研究している課題の「寛大な許し」

と多少関連していると思いました。しかし私は納得できないまま参加を決めました。なぜ納得できなかったかという、災難というものは恨みや受け入れられない憎しみを持つものですし、政治や、歴史や、社会の事件に関連するものは、心理学がどれだけ大きい結果を出せるか確信していないからです。もしかして、心理学者の方は、「身の程知らず」で妄想ばかりしているのでしょうか？初日の午前の開会式での佳代さんの発言は非常に重たい内容だったので、これから始まる4日間を一体どうやって過ごせばいいのかわかりませんでした。午後は南京大虐殺記念館を見学し、村本先生が水辺の彫刻を見て涙を浮かべられているのを見て、突然私の心に様々な思いがこみ上げて来ました。先生方やその他の方はとても良い方だと感じました。本当に良い方なんだと。しかしこの時私は気がかりなこともあり、「ここで泣くなら館内で我慢できますか？中は更にひどく痛々しいですよ！」と。私は何度も記念館に来たことがありますが毎回沈んだ気持ちになります。

そんな中で私は団体の中に入って行き、「仔馬が川を渡る」の中にいる仔馬のように目の前の川がいったいどのくらいの深さなのかも知らず、その水辺に立って前のひづめで水の深さを探る。それなのに前に向かう勇気がまだ出ません。

いくつかのこのような団体に参加したことがありますが、翌日の午前、Armand教授の暖かさは新鮮でした。身体を使ってゲームをしましたが、最初は動きが鈍くまたぎこちなかったです。そして彼は日本人チームと中国人チームに分けお互いに「You hurt me!」「I'm sorry!」と言わせるゲームをし、この時の私のパートナーはOさんで、大きな声で「あなたが私を傷つけたのよ！」と叫びました。しかし私は自分の声がどんどん小さくなっているのに気がつきました。何故なら私は彼女の透き通るような目、澄み切った目、キレイで優しくそんな目を見つめ、少しも覆い隠そうともしなかったため、自分の心の一番柔らかい場所を打ち抜かれたような感覚に襲われたからです。

最後には2人とも言葉は通じないけど、じゃれ合った感じになり、心の底から安全を感じました。活動が続いていく中で私はできるだけ現実の全ての任務や仕事を投げ捨て、自分に全身全霊をささげようと考えました。

一度小グループに分かれた時に私はTさんと討論をし、彼女に私が、心理学

と心理学者が歴史をテーマにすることは、どれだけ大きな結果を出すか全然分からないと言いました。私も卒業論文を書かなければなりません——子供に対して許すと困惑と疑い。彼女は自分の考えを述べました：一人の力は大きくないし、私達が直接戦争を止めることはできないかもしれないが、しかし私達は教育者、コンサルティング者として、一人の人を良い人に育てることはできるでしょう、これも大きな発展です。それで私は心がぱっと明るくなりました！これはまさに私が子供の領域に足を踏み入れて寛大に許すということじゃないでしょうか？すべての人はみんな「悪」の一面がありますが「善」が幼児期の心に芽生えていれば、「悪」を受け入れることができることができますはずです。

もし全ての人に広い心があるならば、慈しみ深い性格があるならば、世界にまだ戦争はありますか？悲惨な事件はありますか？こんなことはあまりに遙か遠い理想ではありますが、今の意義のありかを手にしようと思います。

おじいさんが話したあの歴史は、私達を震えさせました！彼の幼い弟が母のお乳を吸おうとし、彼が「弟に吸わせたくなかった。お母さんから母乳じゃなくて血を吸っていたからです！」と言った時、涙が止まりませんでした。あのような大虐殺を経験し、死人の中から這い出てきたおじいさんは、最後に何度か言いました。「あなたたちはみんな良い子です。みんなに罪はないのです」。この時、私の心はまた大きく揺れました。

彼は私に憎しみながら傷を負う心を見せてくれました。恨み、怒りというもののは自然な反応であって、間違いでも何でもありません。しかし、憎しみは別に超えることができないこともないのです！それを超えるにはたくさん長い時間が必要なだけです。

私は戦争を経験したことはないですが、家庭内の争いが私に「侵害」という問題を長く気にさせました。おじ（父の弟）の家族が、私と私の両親を悲しませることをしました。その中に、おじいさんとおばあさんに対する不孝な行動もありました。私は我慢しましたが、やはり彼らを許すことはできませんし、和解することも望みません。あの環境に戻らなければ、心が傷つくことはないのです。実際、仕事や私生活でめっきり実家へ戻ることもなくなりましたけど。彼ら一家に対しての心の傷害は、小さい時から私とよく遊んだ8歳のいとこも含みます。一緒に新年や祝日を祝いましたが、私も彼らを相手にしたくありま

せん。今回長期休暇で帰省した時、おば（父の妹）一家は、私達を家に招待してくれました。その時この弟もいました。私はこの時とても不思議に思いました。彼ら三人が一緒にいるのを見ている、彼に対して嫌な気持ちはほとんどなくなっていました。食卓でも彼らの世話もできましたし（もちろん他のいともいました）、飲み物を飲んで、おかずも食べました。ただ私は彼の名前を呼びたくありません。

私が何故この問題を話したかったか、この研究課題は個人的な成長と関わっている部分もあるからです。一人が歴史の態度に対して経歴を持つことができるか。

個人の風格：また、上の内容とはどこことなく似ているところもあり、一人の中国人として、犯罪を犯した集団に面と向かって過去を振り返る。まるで私がおじ一家に抱いている安心できないような感じで、一人の人として、良い行いも同じようにし、罪がない次の世代へ、私も自分の心の中に自然と出てくる温情をごまかせません。許すということは簡単なことじゃありません。私は心を広げて迎える準備はできています。その上、私も内心の真実をごまかすつもりはありません。

これらはもしかすると初めて「傷跡を開ける」の意義に直面させられたかもしれませぬ。この4日間で私は変わったと思います。未来の瞬間を、命の意味を意識させられた、これらは意外な喜びです。

村本先生と綾さんに感謝しています。これからもこの活動を続けて下さい！また Armand 教授にも感謝の気持ちでいっぱいです！もちろん日本からの参加者のみなさんにも感謝しています！みんなの努力が私自身を大きく成長させてくれました。

寻找直面创伤的意义——参加 HWH 工作坊后的感想

匿名

像一个从小经历创伤，长大后再也不愿提起的人那样，我已经有好多年有意无意地让自己避免过多地卷入那些残酷的画面。从小学开始，学校就常常组织一